

もしもの水害に備える3

▶ 雨の強さと降り方

最近ニュースで「1時間あたり何mmの雨」という言葉をよく耳にします。

ここでは、雨の降り方による違いを図で表しています。

雨の降り方次第では、避難も困難となってしまいますので、みなさんも雨の降り方に注意し、早めに安全な場所に避難しましょう。

また近年では、狭い範囲に短時間で猛烈な雨が降る「ゲリラ豪雨」も増えています。

やや強い雨

1時間に10~20mmの雨



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら、警戒が必要です。

強い雨

1時間に20~30mmの雨



どしゃ降り、傘をさしてもぬれてしまうほどの雨です。側溝があふれ、小規模のがけ崩れの心配もあります。

激しい雨

1時間に30~50mmの雨



バケツをひっくり返したように降る雨です。小規模の土砂災害が起こりやすく、道路が川のような場所もあります。

非常に激しい雨

1時間に50~80mmの雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽく、視界が悪くなります。災害の発生の可能性が非常に高まります。

猛烈な雨

1時間に80mm以上の雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨です。大規模な災害が発生する可能性が高く、厳重な警戒が必要です。

▶ 土砂災害にも注意する

土砂災害では大雨に起因することが多く、大雨や長雨などにより、土砂災害の危険が高まります。土砂災害の前ぶれに注意し異変を感じた際は早めに危険区域から避難しましょう。福島市内の土砂災害警戒区域の位置は「マップ面」に記載していますので確認してください。

■ 土砂災害による被害の種類

がけ崩れ

急傾斜地



特徴

急な斜面が突然崩れ落ちる現象。傾きが30度以上の崖は要注意です。

前ぶれ

斜面にはらみ、亀裂ができた。小石が斜面から落ちてきた。崖から水が噴き出てきた。

地すべり



特徴

ゆるい傾きの斜面で、地面が大きなかたまりのまま、ゆっくりすべる現象。

前ぶれ

地鳴りがする。沢水や井戸水に濁りがある。家や擁壁に亀裂が入る。

土石流



特徴

大雨などで山がくずれ、くずれた土砂と水が混じり、周囲の岩や木を巻き込んで、津波のように流れてくる現象。

前ぶれ

山鳴りがする。川の水が急に少なくなった、濁った。異様な匂いがする。